

九州地域の経済は、持ち直している

(前回:九州地域の経済は、持ち直している)

生産は持ち直している。輸出は2か月ぶりの増加。個人消費は緩やかに持ち直している。雇用は、求人改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している。

■12月生産:持ち直している

(11月:持ち直している)

- 鉱工業生産指数 99.0
前月比 ▲ 3.3% (7か月ぶり)
前年同月比 ▲ 0.8% (15か月連続)
- 全13業種中、上昇は4業種
電子部品・デバイス工業、その他工業等
- 低下は9業種
汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業等

(出所:九州経済産業局)

■12月輸出:増加(2か月ぶり)

(11月:減少)

- 輸出額 5,994億円
前年同月比 + 2.5% (2か月ぶり)
- 主要品目
自動車 1,469億円 ▲ 7.2% (2か月連続)
電子部品 852億円 + 7.8% (10か月ぶり)
鉄鋼のフラットロール製品 340億円 + 1.3% (2か月連続)
- 国別
中国 1,671億円 + 3.8% (2か月ぶり)
米国 871億円 + 8.7% (2か月ぶり)
韓国 733億円 + 27.4% (5か月連続)

(出所:門司税関)

■12月個人消費:緩やかに持ち直している

(11月:緩やかに持ち直している)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
1,699億円 前年同月比 ▲ 2.2% (2か月連続)
- コンビニ 1,043億円 ▲ 0.9% (2か月ぶり)
- 家電大型専門店 384億円 + 21.0% (3か月連続)
- ドラッグストア 652億円 + 5.3% (3か月連続)
- ホームセンター 354億円 - (-)
- 新車登録台数 34,187台 + 14.7% (3か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■12月雇用:求人改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している

(11月:求人改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している)

- 有効求人倍率 1.06倍
前月比 ▲ 0.01ポイント (3か月ぶり)
- 新規求人倍率 1.93倍
前月比 ± 0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■業況:改善(2四半期連続)

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 ▲ 9 変化幅 + 13
製造業 ▲ 13 変化幅 + 16
非製造業 ▲ 6 変化幅 + 13
- 先行き(3月)
全産業 ▲ 13 変化幅 ▲ 4
製造業 ▲ 14 変化幅 ▲ 1
非製造業 ▲ 12 変化幅 ▲ 6

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■設備投資:減少(2四半期連続)

- 19年度(実績)
全産業 + 10.0%
製造業 + 21.3%
非製造業 ▲ 4.8%
- 20年度(計画)
全産業 ▲ 9.0%
製造業 ▲ 6.0%
非製造業 ▲ 14.1%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■12月住宅建設:減少(17か月連続)

- 新設着工戸数 6,948戸
前年同月比 ▲ 3.2% (17か月連続)
- 持家 2,614戸
+ 0.0% (17か月ぶり)
- 貸家 2,994戸
▲ 0.8% (6か月連続)
- 分譲 1,267戸
▲ 17.4% (2か月連続)

(出所:国土交通省)

■12月公共投資:増加(2か月連続)

- 工事請負金額 1,104億円
前年同月比 + 10.9% (2か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 ▲ 18.7%
独立行政法人等 ▲ 4.9%
県 + 17.3%
市町村 + 29.4%

(出所:西日本建設業保証株)

■12月倒産:減少(6か月連続)

- 倒産件数 43件
前年同月比 ▲ 31.7%
- 負債総額 209.4億円
+ 75.3% (3か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 8件 (+ 14.3%)
卸・小売業 13件 (▲ 18.8%)
建設業 10件 (▲ 16.7%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー（2020年12月）

2021年2月10日
九州経済産業局

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、持ち直している

生産は持ち直している。輸出は2か月ぶりの増加。個人消費は緩やかに持ち直している。雇用は、求人に改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している。

概 況	九州の主要経済指標(2020年12月)		
1. 生産動向 12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、99.0となり、前月比が▲3.3%と7か月ぶりの低下となった。	■生産動向【九州経済産業局】	前月比	前年同月比
	生産指数	▲3.3	▲0.8
	(参考)出荷指数	▲2.4	▲0.6
	在庫指数	▲0.1	▲7.6
2. 設備投資動向 2020年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比▲6.0%、非製造業は同▲14.1%、全産業は同▲9.0%と前年度を下回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2019年度実績、2020年度計画)	2019年度	2020年度
	全産業	10.0	▲9.0
	製造業	21.3	▲6.0
	非製造業	▲4.8	▲14.1
3. 貿易動向 12月の輸出額は、前年同月比+2.5%と2か月ぶりの増加。輸入額は▲14.4%と21か月連続の減少となった。	■貿易動向【財務省】		
	輸出通関額	5,994億円	2.5
	輸入通関額	3,922億円	▲14.4
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】		
●百貨店・スーパー販売額 12月の百貨店・スーパー販売額は、1,699億円で前年同月比▲2.2%と2か月連続の減少となった。百貨店は514億円で同▲10.3%と15か月連続の減少、スーパーは1,185億円で同+2.1%と3か月連続の増加となった。	合計	169,909百万円	▲2.2
	百貨店	51,384百万円	▲10.3
	スーパー	118,526百万円	2.1
●コンビニエンスストア販売額 12月のコンビニエンスストア販売額は、1,043億円で、前年同月比▲0.9%の減少となった。店舗数は5,606店となった。	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】		
	販売額	104,327百万円	▲0.9
	店舗数	5,606店	0.0
●家電販売額 12月の家電販売額は384億円で、前年同月比+21.0%の増加となった。	■家電販売額【九州経済産業局】		
	販売額	38,357百万円	21.0
●乗用車新車登録・届出台数 12月の乗用車新車登録・届出台数は、小型乗用車が前年を下回ったものの、普通乗用車、軽自動車の前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+14.7%と3か月連続の増加となった。	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】		
	乗用車計	34,187台	14.7
	普通車	12,517台	20.9
	小型車	8,108台	▲4.6
	軽自動車	13,562台	23.7
●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 11月の消費支出(二人以上の世帯)は258,784円で、前年同月比+0.5%と2か月連続の増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同+3.8%と2か月連続の増加となった。	■家計調査【総務省】(2020年11月)		
	消費支出	258,784円	(実質) 0.5
	(二人以上の世帯)		
	実収入	466,302円	(実質) 3.8
	(勤労者世帯)		
	平均消費性向(季調値、全国)	67.1%	▲0.5
●賃金(現金給与総額) 10月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比▲0.0%と5か月ぶりの減少、製造業は同▲0.4%と7か月連続の減少となった。	■賃金【各県】(2020年10月)		
	全産業		▲0.0
	製造業		▲0.4
5. 住宅建設動向 12月の新設住宅着工戸数は、持家が増加したものの、貸家、分譲が減少し、全体で前年同月比▲3.2%と17か月連続の減少となった。	■住宅建設動向【国土交通省】		
	住宅着工計	6,948戸	▲3.2
	持家	2,614戸	0.0
	貸家	2,994戸	▲0.8
	分譲住宅	1,267戸	▲17.4
6. 物価動向 12月の消費者物価指数(九州)は、101.9で前年同月比▲0.9%と3か月連続の減少(前月比▲0.2%)となった。国内企業物価指数は、100.3で前年同月比▲2.0%と10か月連続の低下(前月比+0.5%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】		
	消費者物価指数(九州)	101.9	▲0.2
	企業物価指数(全国)	100.3	0.5
			▲0.9
			▲2.0
7. 雇用動向 12月の有効求人倍率は前月比▲0.01ポイントの1.06倍、新規求人倍率は同横ばいの1.93倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】		
	有効求人倍率(季調値)	1.06倍	▲0.01
	新規求人倍率(季調値)	1.93倍	0.00
			▲0.39
			▲0.24
8. 公共投資動向 12月の公共工事請負金額は、前年と比較し、国、独立行政法人等が減少したものの、県、市町村が増加し、全体で前年同月比+10.9%と2か月連続の増加となった。	■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証(株)】		
	請負金額	110,416百万円	10.9
9. 企業倒産動向 12月の倒産件数は前年同月比▲31.7%と6か月連続の減少、負債金額は同+75.3%と3か月ぶりの増加となった。	■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】		
	倒産件数	43件	▲31.7
	負債金額	20,940百万円	75.3

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。

・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

九経マンスリー (2020年)

2021年2月10日
九州経済産業局

概況	九州の主要経済指標(2020年)																														
<p>1. 生産動向 2020年の鉱工業生産指数(原指数)は、95.1で前年比▲9.2%と2年連続の低下となった。</p>	<p>■生産動向【九州経済産業局】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産指数</td> <td>95.1</td> <td>▲9.2</td> </tr> <tr> <td>(参考)出荷指数</td> <td>92.7</td> <td>▲10.4</td> </tr> <tr> <td>在庫指数</td> <td>98.5</td> <td>▲7.6</td> </tr> </tbody> </table>			前年比	生産指数	95.1	▲9.2	(参考)出荷指数	92.7	▲10.4	在庫指数	98.5	▲7.6																		
		前年比																													
生産指数	95.1	▲9.2																													
(参考)出荷指数	92.7	▲10.4																													
在庫指数	98.5	▲7.6																													
<p>2. 設備投資動向 2020年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比▲6.0%、非製造業は同▲14.1%、全産業は同▲9.0%と前年度を下回る見込み。</p>	<p>■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2019年度実績、2020年度計画)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>100</td> <td>▲9.0</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>21.3</td> <td>▲6.0</td> </tr> <tr> <td>非製造業</td> <td>▲4.8</td> <td>▲14.1</td> </tr> </tbody> </table>		2019年度	2020年度	全産業	100	▲9.0	製造業	21.3	▲6.0	非製造業	▲4.8	▲14.1																		
	2019年度	2020年度																													
全産業	100	▲9.0																													
製造業	21.3	▲6.0																													
非製造業	▲4.8	▲14.1																													
<p>3. 貿易動向 2020年の輸出額は、前年比▲12.2%と2年連続の減少となった。輸入額は同▲16.6%と2年連続の減少となった。</p>	<p>■貿易動向【財務省】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>輸出通関額</td> <td>59,018 億円</td> <td>▲12.2</td> </tr> <tr> <td>輸入通関額</td> <td>44,555 億円</td> <td>▲16.6</td> </tr> </tbody> </table>	輸出通関額	59,018 億円	▲12.2	輸入通関額	44,555 億円	▲16.6																								
輸出通関額	59,018 億円	▲12.2																													
輸入通関額	44,555 億円	▲16.6																													
<p>4. 消費動向</p> <p>●百貨店・スーパー販売額 2020年の百貨店・スーパー販売額は1兆4,914億円で前年比▲6.6%と3年連続の減少となった。百貨店は3,804億円で同▲24.5%と3年連続の減少、スーパーは1兆1,110億円で同+1.6%と2年連続の増加となった。</p> <p>●コンビニエンスストア販売額 2020年のコンビニエンスストア販売額は1兆1,511億円となった。店舗数は5,606店となった。</p> <p>●家電販売額 2020年の家電販売額は3,661億円で前年比+7.0%と2年連続で前年を上回った。</p> <p>●乗用車新車登録・届出台数 2020年の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車 が前年を下回り、乗用車全体で前年比▲11.4%と2年連続の減少となった。</p>	<p>■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>1,491,378 百万円</td> <td>▲6.6</td> </tr> <tr> <td>百貨店</td> <td>380,356 百万円</td> <td>▲24.5</td> </tr> <tr> <td>スーパー</td> <td>1,111,022 百万円</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>1,151,120 百万円</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>店舗数</td> <td>5,606 店</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>■家電販売額【九州経済産業局】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>366,114 百万円</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>乗用車計</td> <td>404,166 台</td> <td>▲11.4</td> </tr> <tr> <td>普通車</td> <td>125,964 台</td> <td>▲13.0</td> </tr> <tr> <td>小型車</td> <td>112,198 台</td> <td>▲9.9</td> </tr> <tr> <td>軽自動車</td> <td>166,004 台</td> <td>▲11.1</td> </tr> </tbody> </table>	合計	1,491,378 百万円	▲6.6	百貨店	380,356 百万円	▲24.5	スーパー	1,111,022 百万円	1.6	販売額	1,151,120 百万円	-	店舗数	5,606 店	0.0	販売額	366,114 百万円	7.0	乗用車計	404,166 台	▲11.4	普通車	125,964 台	▲13.0	小型車	112,198 台	▲9.9	軽自動車	166,004 台	▲11.1
合計	1,491,378 百万円	▲6.6																													
百貨店	380,356 百万円	▲24.5																													
スーパー	1,111,022 百万円	1.6																													
販売額	1,151,120 百万円	-																													
店舗数	5,606 店	0.0																													
販売額	366,114 百万円	7.0																													
乗用車計	404,166 台	▲11.4																													
普通車	125,964 台	▲13.0																													
小型車	112,198 台	▲9.9																													
軽自動車	166,004 台	▲11.1																													
<p>5. 住宅建設動向 2020年の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が前年を下回り、全体では前年比▲11.6%と3年連続の減少となった。</p>	<p>■住宅建設動向【国土交通省】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>住宅着工計</td> <td>79,159 戸</td> <td>▲11.6</td> </tr> <tr> <td>持家</td> <td>28,867 戸</td> <td>▲12.6</td> </tr> <tr> <td>貸家</td> <td>33,620 戸</td> <td>▲9.5</td> </tr> <tr> <td>分譲住宅</td> <td>16,275 戸</td> <td>▲13.2</td> </tr> </tbody> </table>	住宅着工計	79,159 戸	▲11.6	持家	28,867 戸	▲12.6	貸家	33,620 戸	▲9.5	分譲住宅	16,275 戸	▲13.2																		
住宅着工計	79,159 戸	▲11.6																													
持家	28,867 戸	▲12.6																													
貸家	33,620 戸	▲9.5																													
分譲住宅	16,275 戸	▲13.2																													
<p>6. 物価動向 2020年の消費者物価指数(九州)は、102.4で前年比+0.2%と8年連続の上昇、国内企業物価指数は、100.3で、前年比▲1.2%と4年ぶりの低下となった。</p>	<p>■物価動向【日本銀行・総務省】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>消費者物価指数(九州)</td> <td>102.4</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>企業物価指数(全国)</td> <td>100.3</td> <td>▲1.2</td> </tr> </tbody> </table>	消費者物価指数(九州)	102.4	0.2	企業物価指数(全国)	100.3	▲1.2																								
消費者物価指数(九州)	102.4	0.2																													
企業物価指数(全国)	100.3	▲1.2																													
<p>7. 雇用動向 2020年の有効求人倍率は▲0.33ポイントの1.14倍と2年連続の低下、新規求人倍率は前年から▲0.32ポイントの1.83倍と11年ぶりの低下となった。</p>	<p>■雇用動向【九州各労働局】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>有効求人倍率</td> <td>1.14 倍</td> <td>▲0.33</td> </tr> <tr> <td>新規求人倍率</td> <td>1.83 倍</td> <td>▲0.32</td> </tr> </tbody> </table>	有効求人倍率	1.14 倍	▲0.33	新規求人倍率	1.83 倍	▲0.32																								
有効求人倍率	1.14 倍	▲0.33																													
新規求人倍率	1.83 倍	▲0.32																													
<p>8. 公共投資動向 2020年の公共工事請負金額は、前年と比較して、独立行政法人等が減少したものの、国、県、市町村が増加し、全体で前年比+7.9%と2年ぶりの増加となった。</p>	<p>■公共投資動向【工事請負】(西日本建設業保証㈱)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>請負金額</td> <td>17,150 億円</td> <td>7.9</td> </tr> </tbody> </table>	請負金額	17,150 億円	7.9																											
請負金額	17,150 億円	7.9																													
<p>9. 企業倒産動向 2020年の倒産件数は前年比▲9.8%と3年ぶりの減少となった。負債金額は同+14.4%と2年連続の増加となった。</p>	<p>■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>倒産件数</td> <td>588 件</td> <td>▲9.8</td> </tr> <tr> <td>負債金額</td> <td>1,037 億円</td> <td>14.4</td> </tr> </tbody> </table>	倒産件数	588 件	▲9.8	負債金額	1,037 億円	14.4																								
倒産件数	588 件	▲9.8																													
負債金額	1,037 億円	14.4																													

(注) ・「1. 生産動向」の指数は原指数。前年比は原数値で比較。
・「3. 貿易動向」は、九経マンスリー平成26年3月版から、山口・沖縄を含まない。

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2021年2月10日
九州経済産業局

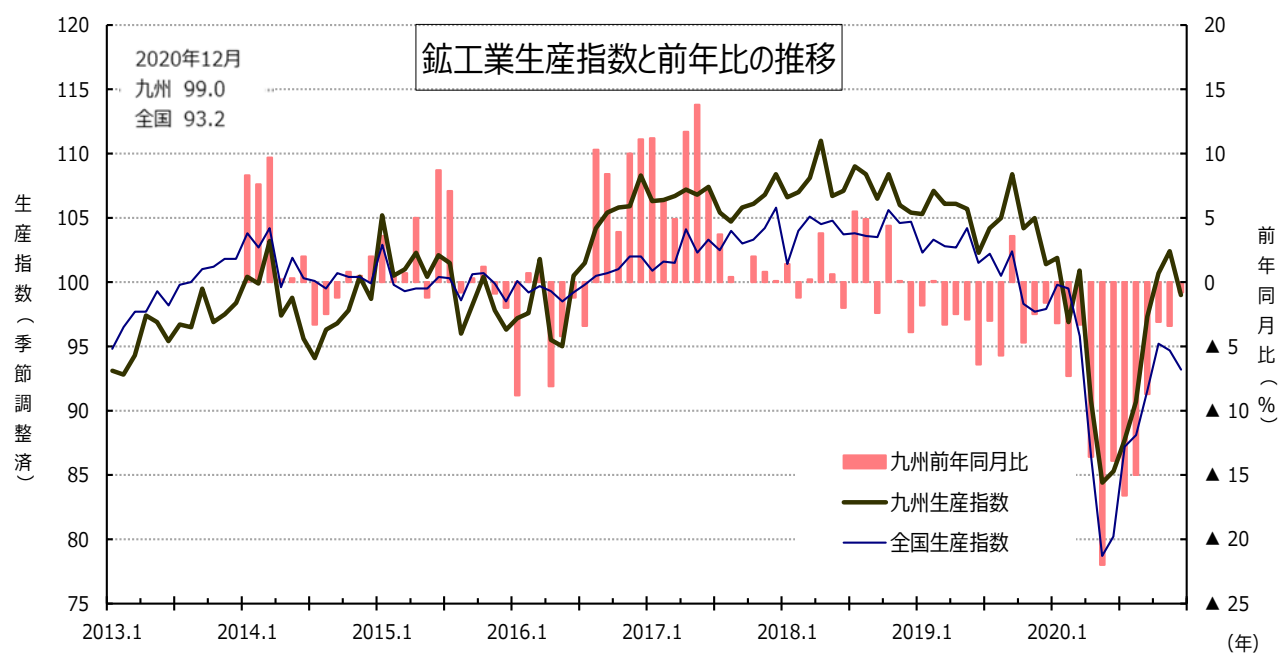
1. 生産動向

(1) 全体

2020年12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は99.0となり、前月比が▲3.3%と7か月ぶりの低下、前年同月比は▲0.8%と15か月連続の低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %	
生産	99.0	▲ 3.3	105.6	▲ 0.8	93.2	▲ 1.6	97.5	▲ 3.2
出荷	99.2	▲ 2.4	105.1	▲ 0.6	92.3	▲ 1.6	97.2	▲ 3.4
在庫	97.6	▲ 0.1	98.5	▲ 7.6	95.3	1.1	93.2	▲ 8.4
在庫率	108.3	▲ 6.5	105.7	▲ 5.3	113.6	2.0	106.1	▲ 3.1

▲印は低下を示す。(2015年=100)

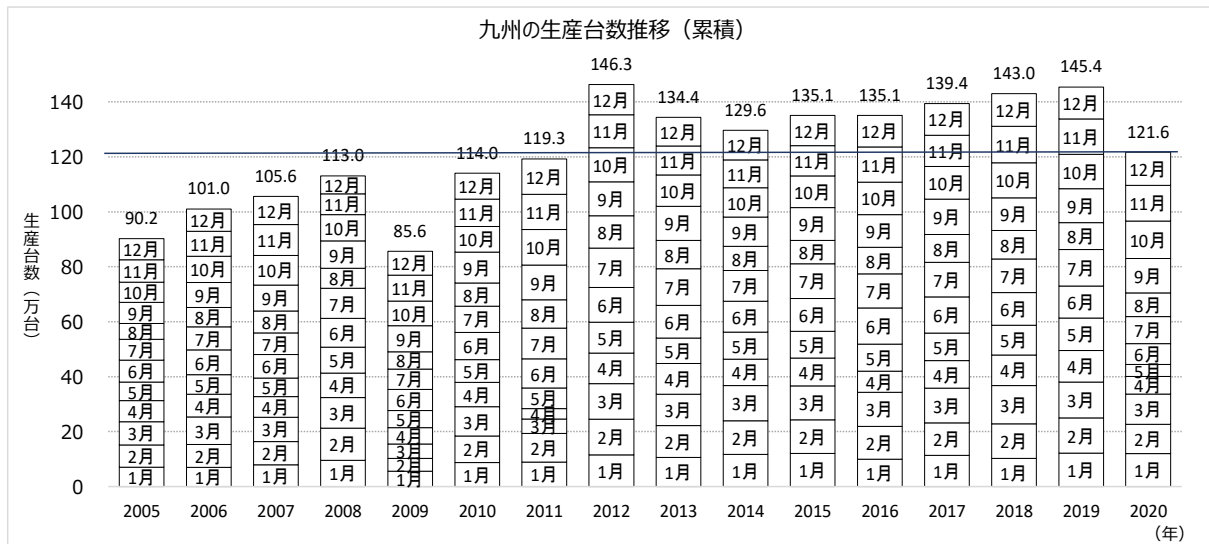


【生産】前月比 ▲3.3% 7か月ぶり低下（全13業種中 上昇4業種、低下9業種、横ばい0業種）

主な上昇・低下業種/ウェイト		前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目	
			前月	今月		
上昇	電子部品・デバイス工業	1,359.4	20.1	4.2	10.6	半導体集積回路（CCD・その他）、トランジスタ等
	その他工業	903.4	▲1.6	▲0.9	3.3	ゴム製品、家具等
低下	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	▲8.3	8.2	▲14.4	半導体製造装置等
	輸送機械工業	1,351.7	1.6	▲1.8	▲5.6	普通乗用車、駆動伝導・操縦装置部品等
	電気・情報通信機械工業	638.9	▲17.3	0.6	▲10.5	半導体・IC測定器、制御ルー等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	▲0.8	2.9	▲3.3	非鉄金属地金、普通鋼鋼材等

(2) 四輪自動車生産動向

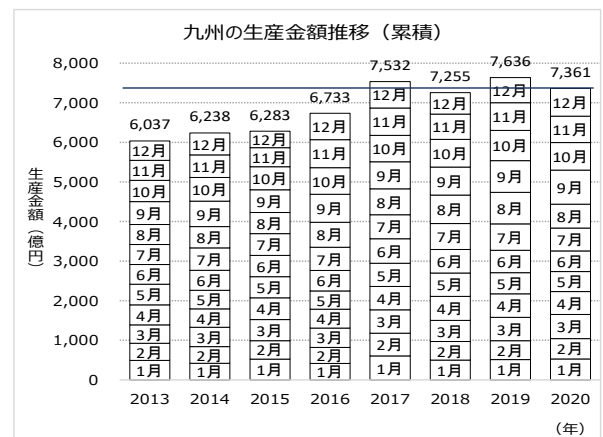
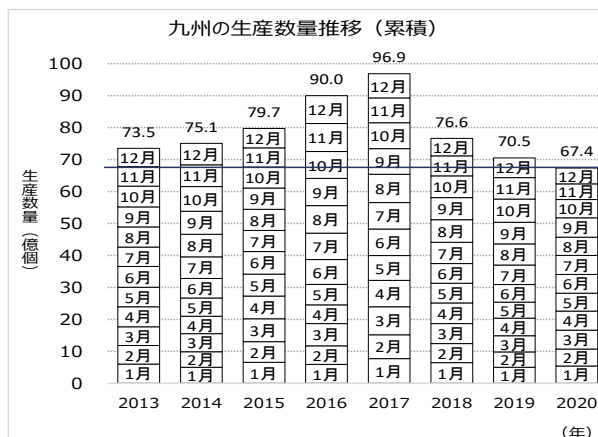
生産台数は120,305台と、前月比▲7.3%、前年同月比+3.5%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で4億9,831万個と、前月比+2.6%、前年同月比▲19.5%となった。

金額で700億7,200万円と、前月比+5.5%、前年同月比+10.4%となった。



【 2020 年 】

(1) 全体

2020年の九州地域の鉱工業指数は、前年比で生産は▲9.2%、出荷は▲10.4%、在庫は▲7.6%低下した。

(2015年=100)

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	(P) 2020年
九州	生産指数	96.3	98.2	100.0	101.6	106.5	107.5	104.7	95.1
	前年比(%)		2.0	1.8	1.6	4.8	0.9	▲2.6	▲9.2
	出荷指数	96.6	97.5	100.0	101.0	104.9	105.3	103.5	92.7
	前年比(%)		0.9	2.6	1.0	3.9	0.4	▲1.7	▲10.4
	在庫指数	97.8	95.3	99.5	91.4	98.1	107.3	106.6	98.5
	前年比(%)		▲2.6	4.4	▲8.1	7.3	9.4	▲0.7	▲7.6
全 国	生産指数	99.2	101.2	100.0	100.0	103.1	104.2	101.1	90.9
	前年比(%)		2.0	▲1.2	0.0	3.1	1.1	▲3.0	▲10.1

(注)年の指数及び前年比は原指数。Pは速報値、▲印は低下を示す。

【生産】・・全13業種中、上昇3業種、低下10業種

	主な上昇・低下業種	前年比	主な上昇・低下品目
上昇	電子部品・デバイス工業	3.4	トランジスタ、固定コンデンサ 等
	窯業・土石製品工業	1.6	ファインセラミックス（機能材）、洗面手洗器 等
低下	輸送機械工業	▲16.6	普通乗用車、シャシー・車体部品 等
	その他工業	▲18.7	ゴム製品、木材・木製品 等
	汎用・生産用・業務用機械工業	▲12.0	ボイラ・原動機、化学機械・同装置 等
	化学・石油石炭製品工業	▲14.8	有機化学製品（芳香族）、プラスチック 等

(2) 四輪自動車生産動向

2020年の生産台数は、1,216,450台と、前年比▲16.3%となった。

(3) IC生産動向

2020年の生産は、数量で67億3,573万個、前年比▲4.5%となった。
金額で7,360億6,400万円、前年比▲3.6%となった。

2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	19年度		20年度 (計画)	
		修正率		修正率
製造業	21.3	-	▲ 6.0	▲ 6.7
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 4.8	-	▲ 14.1	3.9
全産業 (除 電気・ガス)	10.0	-	▲ 9.0	▲ 3.2
(参考)全国全産業	▲ 0.6	-	▲ 3.9	▲ 1.3

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

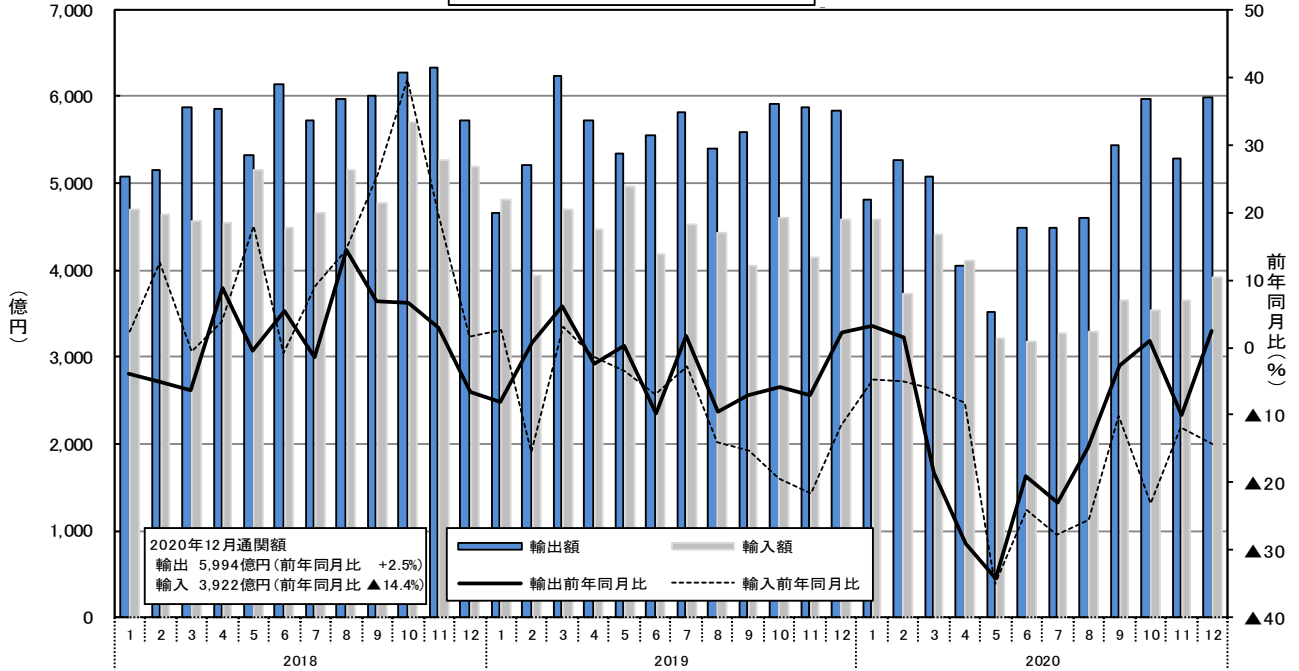
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

3. 貿易動向

12月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	5,994億円	+ 2.5%	2か月ぶりの増加	8.9%
	全国	6兆7,062億円	+ 2.0%	25か月ぶりの増加	-
輸入	九州	3,922億円	▲ 14.4%	21か月連続の減少	6.6%
	全国	5兆9,566億円	▲ 11.6%	20か月連続の減少	-
貿易収支	九州	+2,072億円	-	8か月連続の貿易黒字	-
	全国	+7,496億円	-	6か月連続の貿易黒字	-

		2019年	2020年	2020年				2020年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
輸出通関額(円)	九州	▲ 3.3	R ▲ 12.2	▲ 5.8	▲ 27.4	▲ 13.7	R ▲ 2.2	▲ 2.8	1.0	▲ 10.0	R 2.5
	前年比:% 全国	▲ 5.6	R ▲ 11.1	▲ 5.5	▲ 25.3	▲ 13.0	R ▲ 0.7	▲ 4.9	▲ 0.2	▲ 4.2	R 2.0
輸入通関額(円)	九州	▲ 9.3	P ▲ 16.6	▲ 5.2	▲ 22.9	▲ 21.6	P ▲ 16.6	▲ 10.1	▲ 23.1	R ▲ 11.9	P ▲ 14.4
	前年比:% 全国	▲ 5.0	P ▲ 13.8	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 20.1	P ▲ 12.0	▲ 17.4	▲ 13.2	R ▲ 11.1	P ▲ 11.6
対アジア	輸出	▲ 0.8	R ▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 17.1	2.9	R 2.7	10.4	8.9	▲ 5.9	R 5.5
	前年比:% 輸入	▲ 6.7	P ▲ 10.7	▲ 10.1	▲ 14.5	▲ 15.6	P ▲ 2.4	▲ 7.9	▲ 6.6	R 1.2	P ▲ 1.5
為替レート(¥/\$) (期中平均)		109.01	106.78	108.86	107.60	106.19	104.49	105.74	105.24	104.40	103.82
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		66.79	P 47.13	67.50	32.28	40.73	P 43.82	46.25	44.54	R 42.31	P 44.46

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	半導体等製造装置	424	+ 19.3%	2か月ぶり	+1.2%	中国(+22.3%)、韓国(+183.7%)、アメリカ(+21.8%)、中東(+3370.6%)、香港(+1006.9%)等が増加。ASEAN(▲2.3%)、台湾(▲92.7%)、EU(▲31.6%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	852	+ 7.8%	10か月ぶり	+1.1%	香港(+17.1%)、ASEAN(+2.2%)、韓国(+6.4%)、台湾(+51.6%)、中東(+117.2%)等が増加。中国(▲6.4%)、EU(▲7.4%)、アメリカ(▲90.3%)等が減少。
増加	船舶類	257	+ 15.1%	6か月ぶり	+0.6%	ASEAN(+131.2%)等が増加。韓国(▲17.1%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	340	+ 1.3%	2か月連続	+0.1%	中国(+8.1%)、韓国(+37.0%)、台湾(+3.5%)等が増加。ASEAN(▲34.6%)、中東(▲53.3%)、アメリカ(▲36.6%)、香港(▲1.8%)、EU(▲86.1%)等が減少。
減少	自動車	1,469	▲ 7.2%	2か月連続	▲1.9%	アメリカ(+10.6%)、台湾(+12.0%)、韓国(+61.9%)等が増加。中国(▲6.6%)、中東(▲65.4%)、EU(▲47.4%)、ASEAN(▲63.2%)、香港(▲48.4%)等が減少。
減少	有機化合物	143	▲ 27.6%	10か月連続	▲0.9%	EU(+9.2%)、香港(+55.5%)等が増加。中国(▲40.3%)、韓国(▲8.1%)、ASEAN(▲0.8%)、台湾(▲46.8%)、アメリカ(▲1.4%)、中東(▲54.5%)等が減少。
減少	ゴムタイヤ及びチューブ	181	▲ 15.2%	15か月連続	▲0.6%	アメリカ(+7.5%)、韓国(+17.9%)等が増加。EU(▲37.7%)、中東(▲4.4%)、ASEAN(▲35.5%)、中国(▲80.0%)、台湾(▲14.7%)、香港(▲46.2%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	液化天然ガス	138	+ 17.8%	2か月ぶり	+0.5%	3,647百MT	+ 39.6%	7か月連続
減少	原油及び粗油	494	▲ 52.6%	10か月連続	▲12.0%	1,730千KL	▲ 22.4%	3か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	大韓民国	733	+ 27.4%	5か月連続	+2.7%	半導体等電子部品(+6.4%)、半導体等製造装置(+183.7%)、自動車(+61.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(+37.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+17.9%)等が増加。有機化合物(▲8.1%)、船舶類(▲17.1%)等が減少。
増加	アメリカ合衆国	871	+ 8.7%	2か月ぶり	+1.2%	自動車(+10.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+7.5%)、半導体等製造装置(+21.8%)等が増加。有機化合物(▲1.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲36.6%)、半導体等電子部品(▲90.3%)等が減少。
増加	中華人民共和国	1,671	+ 3.8%	2か月ぶり	+1.1%	半導体等製造装置(+22.3%)、鉄鋼のフラットロール製品(+8.1%)等が増加。自動車(▲6.6%)、有機化合物(▲40.3%)、半導体等電子部品(▲6.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲80.0%)等が減少。
増加	香港	400	+ 14.3%	11か月ぶり	+0.9%	半導体等電子部品(+17.1%)、有機化合物(+55.5%)、半導体等製造装置(+1006.9%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲1.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲46.2%)、自動車(▲48.4%)等が減少。
減少	中東	103	▲ 54.6%	8か月連続	▲2.1%	半導体等製造装置(+3370.6%)、半導体等電子部品(+117.2%)等が増加。自動車(▲65.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲4.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲53.3%)、有機化合物(▲54.5%)等が減少。
減少	EU	341	▲ 17.1%	9か月連続	▲1.2%	有機化合物(+9.2%)等が増加。自動車(▲47.4%)、半導体等電子部品(▲7.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲37.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲86.1%)、半導体等製造装置(▲31.6%)等が減少。
減少	ASEAN	751	▲ 5.7%	2か月連続	▲0.8%	半導体等電子部品(+2.2%)、船舶類(+131.2%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲34.6%)、有機化合物(▲0.8%)、自動車(▲63.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲35.5%)、半導体等製造装置(▲2.3%)等が減少。
減少	台湾	317	▲ 8.5%	4か月連続	▲0.5%	自動車(+12.0%)、半導体等電子部品(+51.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(+3.5%)等が増加。有機化合物(▲46.8%)、半導体等製造装置(▲92.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲14.7%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	オーストラリア	538	+ 14.4%	5か月ぶり	+1.5%
増加	ASEAN	647	+ 5.9%	2か月連続	+0.8%
増加	ナイジェリア	1	+199.7%	2か月連続	+0.0%
減少	中東	509	▲ 44.1%	8か月連続	▲8.8%
減少	ロシア	77	▲ 51.1%	3か月連続	▲1.8%
減少	アメリカ合衆国	201	▲ 27.8%	3か月連続	▲1.7%
減少	EU	117	▲ 32.2%	12か月連続	▲1.2%
減少	大韓民国	194	▲ 12.3%	18か月連続	▲0.6%
減少	中華人民共和国	813	▲ 2.3%	8か月連続	▲0.4%
減少	ペルー	45	▲ 21.2%	2か月ぶり	▲0.3%

【 2020 年 】

2020年		金 額		前年度比	全国 シェア
輸 出	九州	5兆9,018億円	▲ 12.2%	2年連続の減少	8.6%
	全国	68兆4,066億円	▲ 11.1%	2年連続の減少	-
輸 入	九州	4兆4,555億円	▲ 16.6%	2年連続の減少	6.6%
	全国	67兆7,369億円	▲ 13.8%	2年連続の減少	-
貿易収支	九州	+1兆4,464億円	-	6年連続の貿易黒字	-
	全国	+6,697億円	-	3年ぶりの貿易黒字	-

輸出	品 目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	半導体等製造装置	3,184	+ 19.4%	3年ぶり	+0.8%	中国(+25.8%)、韓国(+27.5%)、EU(+109.6%)、中東(+87.8%)、香港(+824.5%)等が増加。台湾(▲21.9%)、ASEAN(▲22.4%)、アメリカ(▲32.8%)等が減少。
減少	自動車	13,795	▲ 16.6%	2年ぶり	▲4.1%	中国(+8.8%)等が増加。アメリカ(▲30.7%)、中東(▲35.0%)、台湾(▲3.4%)、韓国(▲35.2%)、EU(▲55.1%)、ASEAN(▲52.3%)、香港(▲8.8%)等が減少。
減少	船舶類	3,265	▲ 32.2%	2年ぶり	▲2.3%	EU(+58.5%)、香港(+10.4%)等が増加。ASEAN(▲49.6%)、韓国(▲48.0%)、台湾(▲96.2%)等が減少。
減少	半導体等電子部品	8,250	▲ 11.0%	2年ぶり	▲1.5%	ASEAN(+16.8%)、韓国(+8.7%)等が増加。香港(▲30.2%)、中国(▲11.8%)、台湾(▲0.2%)、EU(▲27.3%)、アメリカ(▲59.6%)、中東(▲17.6%)等が減少。
減少	ゴムタイヤ及びチューブ	2,003	▲ 26.4%	2年連続	▲1.1%	アメリカ(▲23.3%)、中東(▲31.5%)、EU(▲36.4%)、ASEAN(▲41.3%)、中国(▲31.9%)、韓国(▲29.4%)、台湾(▲4.7%)、香港(▲53.6%)等が減少。
減少	有機化合物	1,837	▲ 22.2%	4年ぶり	▲0.8%	EU(+62.1%)、アメリカ(+17.9%)、香港(+33.7%)等が増加。中国(▲42.8%)、韓国(▲19.2%)、ASEAN(▲19.6%)、台湾(▲25.3%)、中東(▲26.5%)等が減少。
減少	鉄鋼のフラットロール製品	3,533	▲ 10.1%	2年連続	▲0.6%	中国(+25.1%)、中東(+7.6%)、台湾(+21.3%)、アメリカ(+20.7%)、EU(+1.7%)、香港(+26.9%)等が増加。ASEAN(▲16.0%)、韓国(▲36.3%)等が減少。

輸入	品 目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
減少	原油及び粗油	7,205	▲ 32.6%	2年連続	▲6.5%	23,197千KL	▲ 0.6%	5年連続
減少	液化天然ガス	1,330	▲ 8.9%	2年連続	▲0.2%	31,968百MT	+ 22.0%	7年ぶり

輸出	国別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	中華人民共和国	16,811	+ 9.6%	2年ぶり	+2.2%	自動車(+8.8%)、半導体等製造装置(+25.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+25.1%)等が増加。有機化合物(▲42.8%)、半導体等電子部品(▲11.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲31.9%)等が減少。
増加	台湾	3,443	+ 1.0%	3年ぶり	+0.1%	鉄鋼のフラットロール製品(+21.3%)等が増加。自動車(▲3.4%)、半導体等電子部品(▲0.2%)、半導体等製造装置(▲21.9%)、有機化合物(▲25.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲4.7%)、船舶類(▲96.2%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	6,656	▲ 29.0%	3年連続	▲4.0%	有機化合物(+17.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(+20.7%)等が増加。自動車(▲30.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲23.3%)、半導体等電子部品(▲59.6%)、半導体等製造装置(▲32.8%)等が減少。
減少	香港	3,912	▲ 26.1%	9年ぶり	▲2.1%	船舶類(+10.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+26.9%)、有機化合物(+33.7%)、半導体等製造装置(+824.5%)等が増加。半導体等電子部品(▲30.2%)、自動車(▲8.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲53.6%)等が減少。
減少	ASEAN	8,255	▲ 11.8%	2年連続	▲1.6%	半導体等電子部品(+16.8%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲16.0%)、船舶類(▲49.6%)、有機化合物(▲19.6%)、自動車(▲52.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲41.3%)、半導体等製造装置(▲22.4%)等が減少。
減少	EU	3,535	▲ 19.0%	3年連続	▲1.2%	船舶類(+58.5%)、有機化合物(+62.1%)、鉄鋼のフラットロール製品(+1.7%)、半導体等製造装置(+109.6%)等が増加。自動車(▲55.1%)、半導体等電子部品(▲27.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲36.4%)等が減少。
減少	中東	1,595	▲ 32.0%	2年連続	▲1.1%	鉄鋼のフラットロール製品(+7.6%)、半導体等製造装置(+87.8%)等が増加。自動車(▲35.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲31.5%)、有機化合物(▲26.5%)、半導体等電子部品(▲17.6%)等が減少。
減少	大韓民国	6,990	▲ 3.8%	3年連続	▲0.4%	半導体等電子部品(+8.7%)、半導体等製造装置(+27.5%)等が増加。自動車(▲35.2%)、有機化合物(▲19.2%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲36.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲29.4%)、船舶類(▲48.0%)等が減少。

輸入	国別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	ナイジェリア	8	+ 3.5%	2年ぶり	+0.0%
減少	中東	7,003	▲ 27.0%	2年連続	▲4.8%
減少	中華人民共和国	8,992	▲ 10.7%	2年連続	▲2.0%
減少	ASEAN	6,481	▲ 12.1%	2年連続	▲1.7%
減少	ロシア	1,274	▲ 38.4%	2年ぶり	▲1.5%
減少	オーストラリア	4,787	▲ 13.1%	2年連続	▲1.3%
減少	アメリカ合衆国	3,419	▲ 15.6%	2年連続	▲1.2%
減少	EU	1,234	▲ 28.8%	2年連続	▲0.9%
減少	大韓民国	2,154	▲ 18.3%	2年連続	▲0.9%
減少	ペルー	421	▲ 18.5%	4年ぶり	▲0.2%

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	合 計		百貨店		スーパー	
	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)
全 国	2,103,252	▲ 3.4 (▲ 3.5)	603,342	▲ 14.5 (▲ 13.0)	1,499,911	2.4 (1.6)
九州計	169,909	▲ 2.2 (▲ 2.9)	51,384	▲ 10.3 (▲ 8.8)	118,526	2.1 (0.3)
衣料品	32,406	▲ 10.7 (▲ 10.4)	20,342	▲ 11.0 (▲ 10.1)	12,064	▲ 10.3 (▲ 10.8)
飲食料品	91,288	1.0 (0.5)	18,154	▲ 9.4 (▲ 6.8)	73,134	4.4 (2.7)
その他	46,215	▲ 1.8 (▲ 3.4)	12,888	▲ 10.4 (▲ 9.5)	33,327	2.1 (▲ 0.2)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	九州計	▲ 10.3	全般的に動きが鈍く、15か月連続で前年を下回った。	▲ 10.3	▲ 8.8
	衣料品	▲ 4.4	全般的に動きが鈍く、15か月連続で前年を下回った。	▲ 11.0	▲ 10.1
	飲食料品	▲ 3.3	全般的に動きが鈍く、25か月連続で前年を下回った。	▲ 9.4	▲ 6.8
	その他	▲ 2.6	時計、宝飾、貴金属等の動きがよかったものの、化粧品等の動きが鈍かったことなどから、2か月連続で前年を下回った。	▲ 10.4	▲ 9.5
スーパー	九州計	2.1	衣料品が不調だったものの、飲食料品や衛生用品等の動きが良かったことなどから、3か月連続で前年を上回った。	2.1	0.3
	衣料品	▲ 1.3	身の回り品の動きが良かったものの、コート等の動きが鈍く、2か月連続で前年を下回った。	▲ 10.3	▲ 10.8
	飲食料品	2.7	生鮮食品を中心に、全般的に動きが良かったことなどから、14か月連続で前年を上回った。	4.4	2.7
	その他	0.5	衛生用品や洗剤等が好調だったことなどから、3か月連続で前年を上回った。	2.1	▲ 0.2

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	104,327	▲ 0.9	5,606	0.0	1,023,359	▲ 3.8	56,542	0.1
全国比	10.2	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	38,357	21.0	304	1.3	515,399	14.7	2,566	0.5
全国比	7.4	—	11.8	—	—	—	—	—
ドラッグストア	65,208	5.3	1,535	0.3	649,525	4.8	16,998	3.5
全国比	10.0	—	9.0	—	—	—	—	—
ホームセンター	35,425	—	545	—	344,659	7.5	4,418	1.4
全国比	10.3	—	12.3	—	—	—	—	—

【 2020 年 】

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	合 計		百貨店		スーパー	
	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)
全国	19,503,743	▲ 5.4 (▲ 6.6)	4,693,486	▲ 25.5 (▲ 24.3)	14,810,257	3.4 (1.9)
九州計	1,491,378	▲ 6.6 (▲ 8.6)	380,356	▲ 24.5 (▲ 23.5)	1,111,022	1.6 (▲ 1.1)
衣料品	283,414	▲ 23.1 (▲ 22.8)	167,963	▲ 27.2 (▲ 26.1)	115,451	▲ 16.6 (▲ 16.9)
飲食品	802,677	1.8 (▲ 0.3)	104,617	▲ 19.5 (▲ 18.3)	698,060	5.8 (3.4)
その他	405,287	▲ 7.6 (▲ 11.2)	107,776	▲ 24.6 (▲ 23.9)	297,511	0.9 (▲ 3.9)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	▲ 4.1	高額品の動きが良かったものの、感染症の影響や、一部店舗が閉店した影響などにより、3年連続で前年を下回った。	▲ 24.5	▲ 23.5
	衣料品計	▲ 2.5	一般的に動きが鈍く、6年連続で前年を下回った。	▲ 27.2	▲ 26.1
	飲食品	▲ 1.2	一般的に動きが鈍く、6年連続で前年を下回った。	▲ 19.5	▲ 18.3
	その他計	▲ 0.4	宝飾・美術・貴金属に動きが見られたものの、化粧品が鈍かったことなどから、2年連続で前年を下回った。	▲ 24.6	▲ 23.9
スーパー	合計	0.4	衣料品の動きが鈍かったものの、飲食品の動きがよかったことや衛生用品等が好調だったことなどから、2年連続で前年を上回った。	1.6	▲ 1.1
	衣料品計	▲ 0.4	一般的に動きが鈍く、13年連続で前年を下回った。	▲ 16.6	▲ 16.9
	飲食品	0.5	生鮮食品を中心に、一般的に動きが良かったことなどから、2年連続で前年を上回った。	5.8	3.4
	その他計	0.4	化粧品の動きが鈍かったものの、衛生用品や洗剤等が好調だったことなどから、8年連続で前年を上回った。	0.9	▲ 3.9

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	1,151,120	-	5,606	0.0	11,642,288	▲ 4.4	56,542	0.1
全国比	9.9	-	9.9	-	-	-	-	-
家電大型専門店	366,114	7.0	304	1.3	4,792,933	5.1	2,566	0.5
全国比	7.6	-	11.8	-	-	-	-	-
ドラッグストア	731,797	7.6	1,535	0.3	7,284,872	6.6	16,998	3.5
全国比	10.0	-	9.0	-	-	-	-	-
ホームセンター	-	-	545	-	3,495,723	6.7	4,418	1.4
全国比	-	-	12.3	-	-	-	-	-

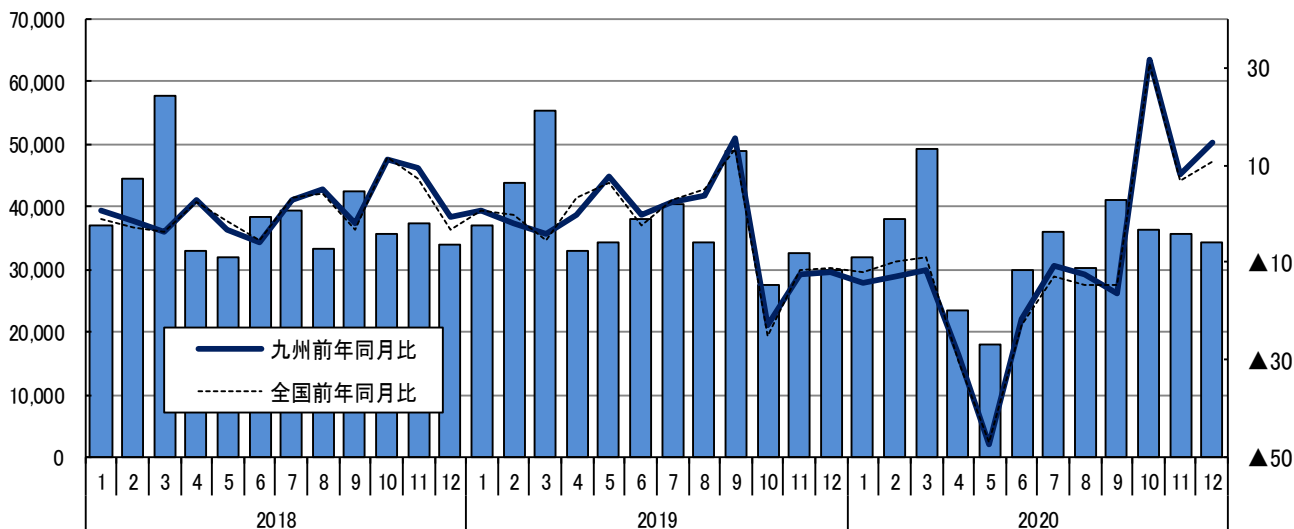
(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

12月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	34,187台	+ 14.7%	3か月連続	314,343台	+ 10.8%	3か月連続
普通	12,517台	+ 20.9%	3か月連続	131,769台	+ 17.0%	3か月連続
小型	8,108台	▲ 4.6%	2か月連続	78,070台	▲ 4.4%	2か月連続
軽	13,562台	+ 23.7%	3か月連続	104,504台	+ 16.7%	3か月連続

2020年	九州			全国		
	台数(台)	前年比		台数(台)	前年比	
全体	404,166台	▲ 11.4%	2年連続	3,803,757台	▲ 11.5%	2年連続
普通	125,964台	▲ 13.0%	5年ぶり	1,369,299台	▲ 13.6%	5年ぶり
小型	112,198台	▲ 9.9%	3年連続	1,103,309台	▲ 10.4%	3年連続
軽	166,004台	▲ 11.1%	2年連続	1,331,149台	▲ 10.0%	2年連続

		2019年	2020年	2020年				2020年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
九州	全体	▲ 1.9	▲ 11.4	▲ 12.6	▲ 32.2	▲ 13.4	17.6	▲ 16.2	31.7	8.3	14.7
	普通乗用車	1.6	▲ 13.0	▲ 17.3	▲ 38.2	▲ 18.7	29.3	▲ 17.5	46.8	23.4	20.9
	小型乗用車	▲ 6.1	▲ 9.9	▲ 5.7	▲ 21.3	▲ 14.8	4.0	▲ 13.2	28.4	▲ 7.7	▲ 4.6
	軽自動車	▲ 1.6	▲ 11.1	▲ 13.6	▲ 34.8	▲ 8.1	17.5	▲ 17.0	23.1	7.4	23.7
全国	全体	▲ 2.0	▲ 11.5	▲ 10.1	▲ 32.9	▲ 14.1	15.3	▲ 14.7	30.8	6.7	10.8
	普通乗用車	0.2	▲ 13.6	▲ 15.0	▲ 38.7	▲ 19.0	24.6	▲ 16.5	38.2	21.0	17.0
	小型乗用車	▲ 5.9	▲ 10.4	▲ 5.2	▲ 23.2	▲ 14.8	3.0	▲ 14.9	29.9	▲ 11.7	▲ 4.4
	軽自動車	▲ 1.1	▲ 10.0	▲ 9.0	▲ 35.0	▲ 8.2	15.7	▲ 12.7	24.3	7.2	16.7

乗用車新車登録・届出台数の推移[月別] (軽自動車含む) 前年同月比 (%)



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

11月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	25万8,784円	+ 0.5%
	全国	27万8,718円	+ 1.1%	2か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

11月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	46万6,302円	+ 3.8%
	全国	47万3,294円	+ 0.6%	11か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

10月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	23万8,727円	▲ 0.0%	5か月ぶり	9.2時間	▲ 8.8%	13か月連続
製造業	26万2,652円	▲ 0.4%	7か月連続	13.7時間	▲ 7.8%	27か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2018年	2019年	2019年	2020年			2020年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
九州	全産業	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 1.6	0.6	▲ 1.1	0.9	0.7	0.1	▲ 0.0	-
	製造業	2.0	▲ 3.6	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4	▲ 2.7	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 0.4	-
全国	全産業	1.4	▲ 0.4	▲ 0.1	0.7	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.8
	製造業	1.8	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 4.6	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 1.8	▲ 1.3	▲ 3.5

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

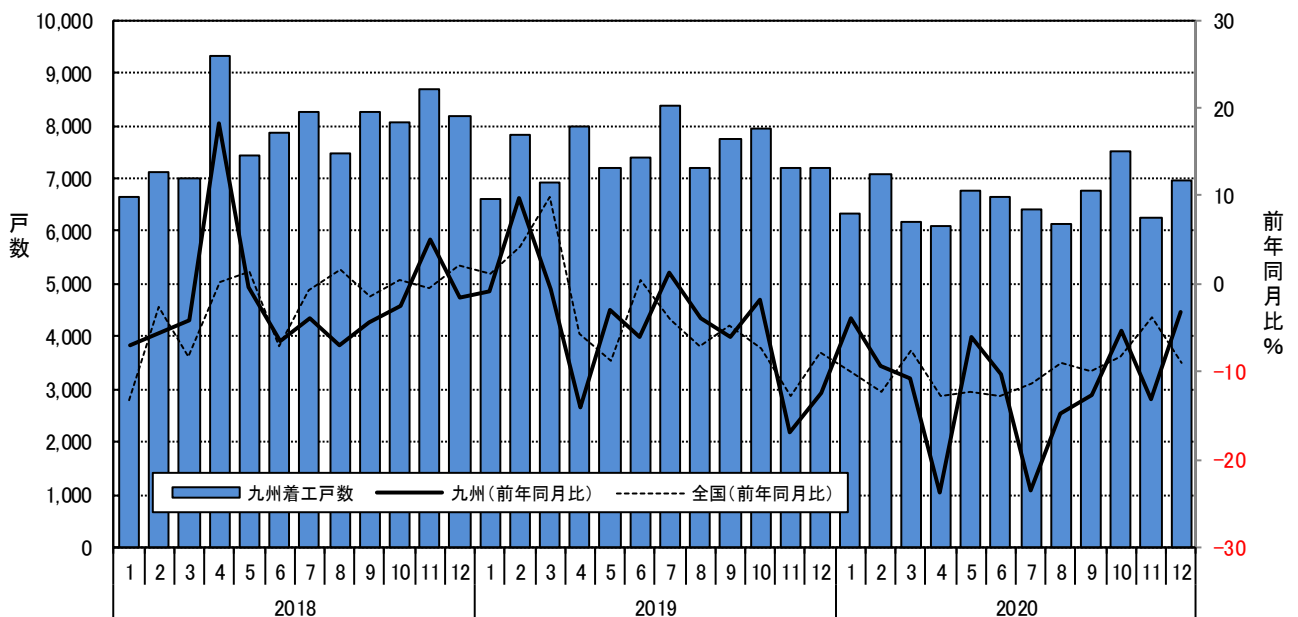
5. 住宅建設動向

12月九州	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	6,948戸	▲ 3.2%	17か月連続
持家	2,614戸	+ 0.0%	17か月ぶり
貸家	2,994戸	▲ 0.8%	6か月連続
分譲	1,267戸	▲ 17.4%	2か月連続
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	65,643戸	▲ 9.0%	18か月連続
持家	22,819戸	+ 2.4%	2か月連続
貸家	24,423戸	▲ 11.5%	28か月連続
分譲	17,622戸	▲ 18.4%	14か月連続

2020年九州	戸数(戸)	前年比(%)	
総数	79,159戸	▲ 11.6%	3年連続
持家	28,867戸	▲ 12.6%	3年連続
貸家	33,620戸	▲ 9.5%	4年連続
分譲	16,275戸	▲ 13.2%	4年ぶり
全国	戸数(戸)	前年比(%)	
総数	814,765戸	▲ 10.0%	4年連続
持家	261,084戸	▲ 9.6%	2年ぶり
貸家	306,337戸	▲ 10.5%	3年連続
分譲	240,113戸	▲ 10.3%	6年ぶり

項目		2019年	2020年	2020年				2020年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 13.7	▲ 17.2	▲ 7.2	▲ 12.6	▲ 5.3	▲ 13.2	▲ 3.2
	全国	▲ 4.0	▲ 10.0	▲ 9.9	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 7.0	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 3.7	▲ 9.0
持家	九州	▲ 1.2	▲ 12.6	▲ 9.5	▲ 22.8	▲ 12.1	▲ 5.0	▲ 10.2	▲ 9.3	▲ 5.4	0.0
	全国	1.9	▲ 9.6	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 9.9	▲ 0.9	▲ 7.0	▲ 6.1	1.5	2.4
貸家	九州	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 6.8	▲ 12.0	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 0.8
	全国	▲ 13.7	▲ 10.5	▲ 9.6	▲ 12.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 14.8	▲ 11.5	▲ 8.1	▲ 11.5
分譲住宅	九州	2.9	▲ 13.2	1.6	▲ 7.9	▲ 29.2	▲ 12.1	▲ 18.6	4.4	▲ 28.2	▲ 17.4
	全国	4.9	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 6.2	▲ 11.7	▲ 11.4	▲ 7.8	▲ 9.6	▲ 6.1	▲ 18.4

住宅着工戸数の推移(月別)



出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

6. 物価動向

12月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.9	▲ 0.2%	2か月連続	▲ 0.9%	3か月連続
12月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.1	▲ 0.3%	4か月連続	▲ 1.2%	3か月連続

2020年	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.4	*	—	+ 0.2%	8年連続
2020年	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.8	*	—	0.0%	横ばい

12月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	100.3	+ 0.5%	4か月ぶり	▲ 2.0%	10か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	90.8	+ 0.8%	3か月ぶり	▲ 1.3%	20か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	84.3	+ 1.9%	2か月連続	▲ 9.8%	20か月連続

2020年	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	100.3	*	—	▲ 1.2%	4年ぶり
	輸出物価指数(円ベース)	90.2	*	—	▲ 3.1%	2年連続
	輸入物価指数(円ベース)	84.8	*	—	▲ 10.2%	2年連続

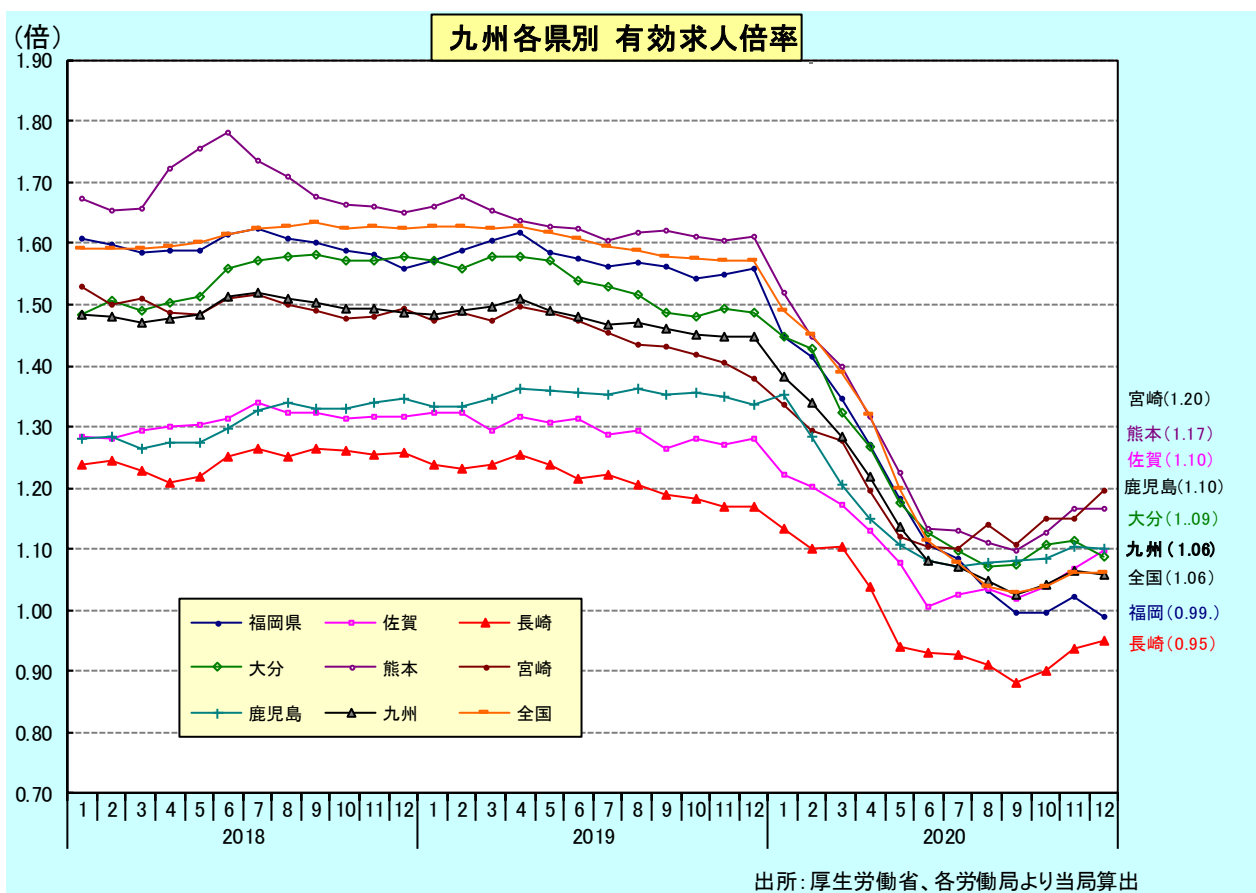
出所：総務省「消費者物価指数」(平成 27 年基準)、日本銀行「企業物価指数」(平成 27 年基準)

7. 雇用動向

項目		2019年	2020年	2020年				2020年	2020年	2020年	2020年
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
有効求人倍率	九州	1.47	1.14	1.34	1.14	1.05	1.05	1.03	1.04	1.07	1.06
	全国	1.60	1.18	1.44	1.21	1.05	1.05	1.03	1.04	1.06	1.06
新規求人倍率	九州	2.15	1.83	1.93	1.72	1.83	1.88	1.95	1.79	1.93	1.93
	全国	2.42	1.95	2.17	1.81	1.85	1.97	2.02	1.82	2.02	2.07

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

出所：厚生労働省、各労働局資料より当局算出

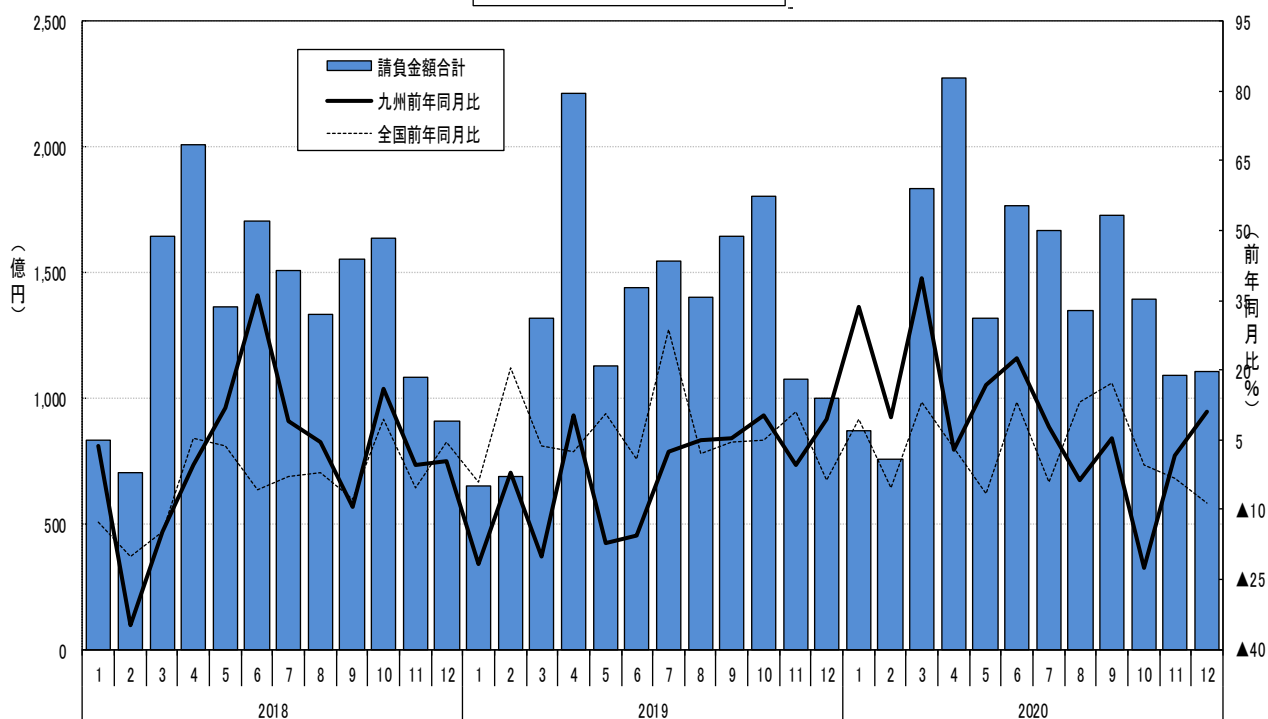


8. 公共投資動向

12月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	1,104億円	+ 10.9%	2か月連続	▲ 18.7%	▲ 4.9%	+ 17.3%	+ 29.4%	▲ 47.9%
全国	7,345億円	▲ 8.6%	3か月連続	▲ 22.9%	▲ 16.2%	▲ 11.1%	+ 11.0%	▲ 49.4%

2020年	請負額	前年比		前年度比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	17,150億円	+ 7.9%	2年ぶり	+ 27.5%	▲ 22.9%	+ 12.0%	+ 2.7%	+ 7.7%
全国	153,967億円	+ 3.8%	2年連続	+ 13.3%	+ 2.2%	+ 5.0%	▲ 2.1%	+ 9.1%

公共工事保証実績の推移(月別)



出所: 西日本建設業保証(株)

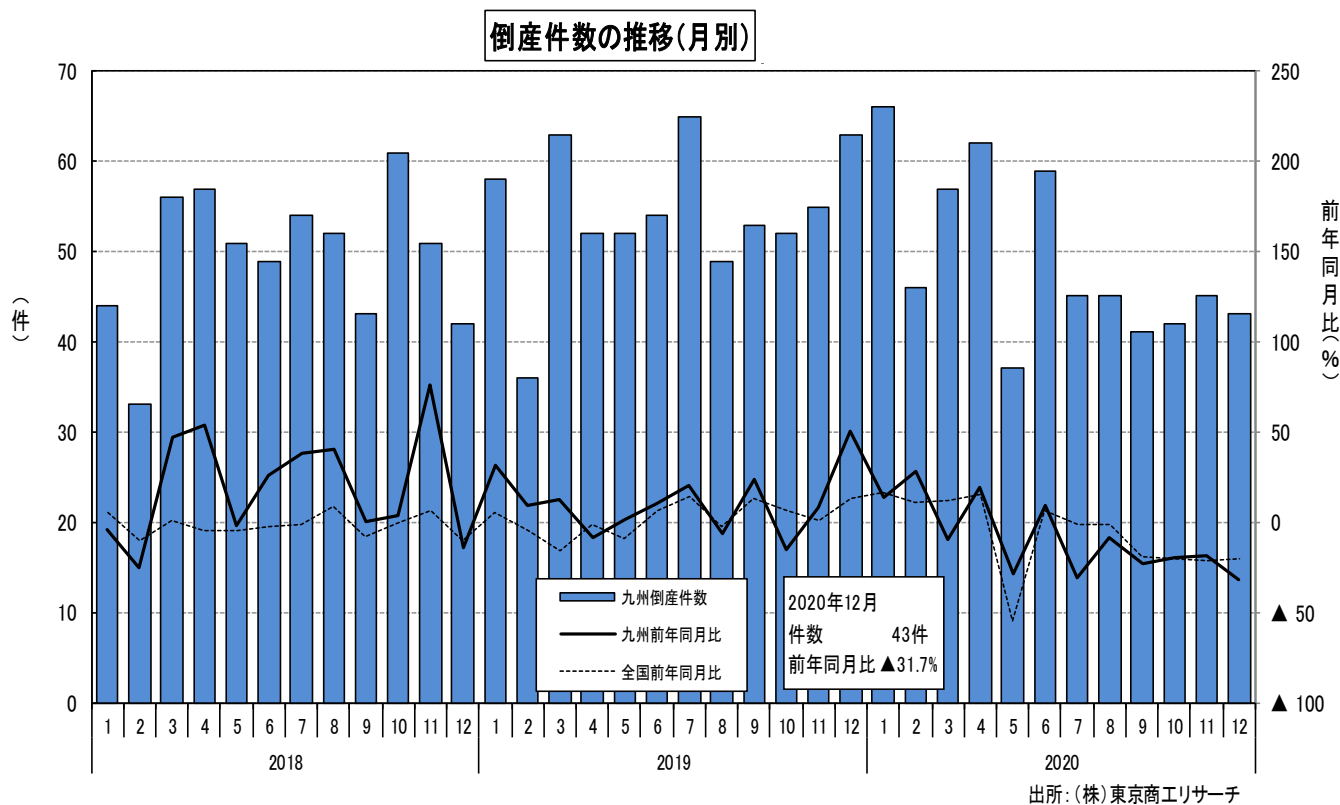
9. 企業倒産動向

12月			前年同月比	
倒産件数	九州	43件	▲ 31.7%	6か月連続
	全国	558件	▲ 20.7%	6か月連続
負債総額	九州	209.4億円	+ 75.3%	3か月ぶり
	全国	1,385.2億円	▲ 11.7%	5か月連続

12月 業種別			前年同月比	
倒産件数	製造	8件	+ 14.3%	3か月連続
	卸・小売	13件	▲ 18.8%	2か月ぶり
	建設	10件	▲ 16.7%	6か月連続
	その他	12件	▲ 57.1%	2か月連続

2020年			前年比	
倒産件数	九州	588件	▲ 9.8%	3年ぶり
	全国	7,773件	▲ 7.3%	2年ぶり
負債総額	九州	1,037.4億円	+ 14.4%	2年連続
	全国	12,200.5億円	▲ 14.3%	3年連続

2020年 業種別			前年比	
倒産件数	製造	72件	+ 24.1%	2年ぶり
	卸・小売	159件	▲ 18.9%	3年ぶり
	建設	113件	▲ 18.7%	2年ぶり
	その他	244件	▲ 5.8%	3年ぶり



(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

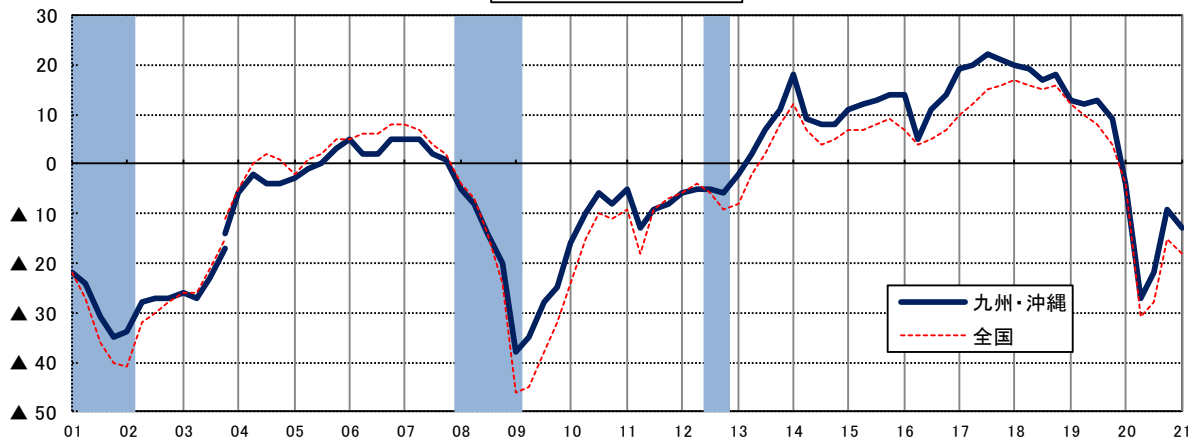
日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲13(前回調査比+16ポイント)、非製造業は▲6(同+13ポイント)、全産業で▲9(同+13ポイント)と改善した。次回予測(21年3月)の数値は、製造業は▲14(12月比▲1ポイント)、非製造業は▲12(同▲6ポイント)、全産業で▲13(同▲4ポイント)と予測。

(先行き)

業況判断DI		2018年		2019年				2020年				2021年
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	九州・沖縄	17	18	13	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲13
	全国	15	16	12	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲18
製造業	九州・沖縄	15	13	5	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲14
	全国	16	16	7	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲19
非製造業	九州・沖縄	18	20	17	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲12
	全国	14	15	15	14	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲16

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(注) 網掛け部分は景気後退期

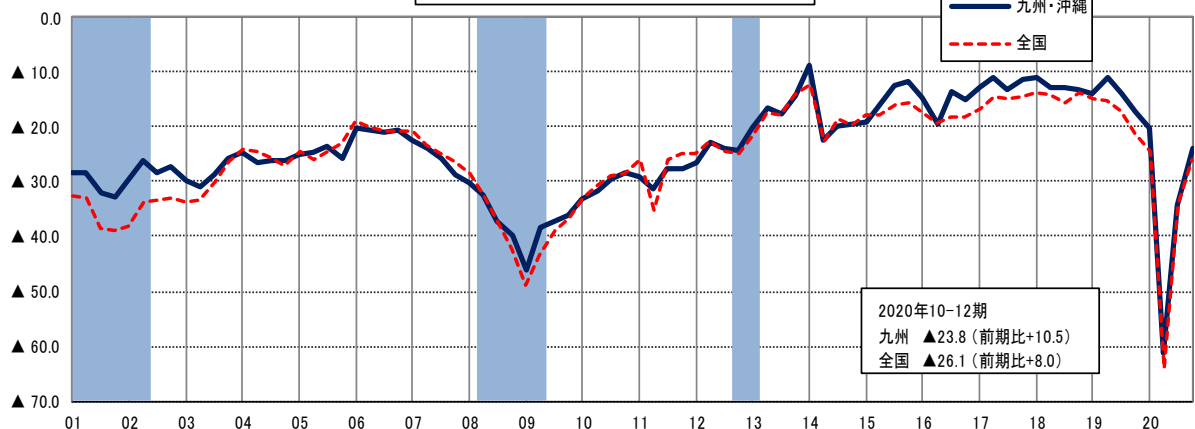
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2020年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲23.8と前期から+10.5ポイントの上昇となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2018年		2019年					2020年			
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
全産業	九州・沖縄	▲12.8	▲13.1	▲14.0	▲11.1	▲13.9	▲17.2	▲20.2	▲61.4	▲34.3	▲23.8	
	全国	▲15.6	▲13.7	▲14.8	▲15.4	▲17.1	▲21.2	▲24.4	▲64.1	▲34.1	▲26.1	
製造業	九州・沖縄	▲12.1	▲12.1	▲18.0	▲12.1	▲14.9	▲18.8	▲22.0	▲66.7	▲35.8	▲27.0	
	全国	▲10.5	▲10.7	▲14.0	▲15.0	▲17.5	▲22.6	▲27.4	▲65.9	▲40.8	▲29.2	
非製造業	九州・沖縄	▲12.9	▲13.4	▲13.1	▲10.6	▲13.4	▲16.5	▲20.0	▲59.9	▲33.9	▲22.8	
	全国	▲17.2	▲14.7	▲15.0	▲15.6	▲16.9	▲20.6	▲23.5	▲63.5	▲32.1	▲25.4	

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」